



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月16日

上場会社名 株式会社キューブ 上場取引所 東
コード番号 7112 URL <http://www.cube-co.com/>
代表者（役職名）代表取締役社長CEO（氏名）橋本 和武
問合せ先責任者（役職名）取締役CFO（氏名）福岡 裕太（TEL）03-6427-0791
定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年3月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期の業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期	4,863	△0.0	59	△64.3	63	△62.4	34	△68.0
2024年12月期	4,863	0.1	166	△42.6	170	△41.7	108	△43.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年12月期	5.70	—	0.9	1.4	1.2
2024年12月期	17.88	—	2.8	3.7	3.4

（参考）持分法投資損益 2025年12月期 △68百万円 2024年12月期 ー百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期	4,611	4,042	87.7	658.42
2024年12月期	4,791	3,982	83.1	654.22

（参考）自己資本 2025年12月期 4,042百万円 2024年12月期 3,982百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	△254	△1,238	—	930
2024年12月期	238	△172	△0	2,423

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,965	2.1	115	93.8	120	87.5	66	89.4	10.74

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期	6,139,647 株	2024年12月期	6,087,604 株
② 期末自己株式数	2025年12月期	29 株	2024年12月期	29 株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	6,114,747 株	2024年12月期	6,083,267 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当事業年度（2025年1月1日～2025年12月31日）における我が国経済は、堅調な企業収益や賃上げの進展が見られたものの、米国の通商政策を含めた不安定な海外情勢と原材料価格等の高止まりが下押し圧力となり、景気は一進一退の状況で推移いたしました。

当社の属する衣料品販売業界においても、原材料費や物流費、電力料の高騰等、厳しい経営環境が続き、また、物価の上昇等から購買行動の慎重化が顕著となっております。

このような環境の中、当社はオンライン・オフラインの双方から、国内外における販売強化に努めてまいりました。

これらの結果として、当事業年度における売上高は4,863,553千円（前年同期比0.0%減）となり、営業利益は59,324千円（前年同期比64.3%減）、経常利益は63,987千円（前年同期比62.4%減）、当期純利益は34,847千円（前年同期比68.0%減）となりました。

なお、当社は衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

特に重要な指標の内容は以下のとおりであります。

(売上高)

当事業年度の売上高は4,863,553千円（前期比0.0%減）となりました。前事業年度に引き続き、デジタル化の推進と海外展開の拡大に向けて、オフライン・オンラインの販売チャネルの融合、新規店舗の出店も含めた集客・販売力の強化を図り、国内リテール、国内EC、及び海外ECにおいて売上の拡大に努めております。また、韓国卸、中国卸、海外卸、及び国内卸の各卸においても、特に海外における新規取引先の獲得等を進め、売上の拡大を図っております。

当社の事業区分別の内訳は、次のとおりであります。

相手先	第31期事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)		第32期事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
国内リテール	1,762,882	36.2	2,086,314	42.9
国内EC	915,903	18.8	820,182	16.9
海外EC	132,914	2.7	103,114	2.1
韓国卸	1,476,054	30.3	1,323,492	27.2
中国卸	—	0.0	100,496	2.1
海外卸	216,378	4.4	147,358	3.0
国内卸	318,336	6.5	264,739	5.4
その他	41,296	0.8	17,855	0.4

(売上総利益及び営業利益)

当事業年度の売上原価は、1,922,335千円（前期比6.5%減）となりました。商品の原価目標を設定した売上原価率の低減を徹底した結果、当事業年度は売上原価率39.5%となっております。この結果、当事業年度の売上総利益は2,941,217千円（前期比4.8%増）となり、売上総利益率は60.5%となっております。また、当事業年度の販売費及び一般管理費は、2,881,892千円（前期比9.1%増）となりました。中長期的な成長に向け投資を行う中で、業容拡大に向け全社で人材採用を強化した結果として採用活動経費等の業務委託費用、給料手当が増加し、新規店舗の出店に伴い地代家賃及び減価償却費等が増加傾向にあります。この結果、当事業年度の

営業利益は59,324千円（前期比64.3%減）となりました。

また、上記指標の計画達成に向けて、事業運営上重要と考えている重要指標として、今後の事業拡大の主たる部分について、海外売上高、及びEC売上高を含むD2C売上高の増加を想定していることから、海外売上高比率、D2C比率及びEC化率の上昇に取り組んでおりますが、前事業年度及び当事業年度の推移は以下のとおりであります。

	2024年12月期	2025年12月期
海外売上高比率(%)	37.5	34.4
D2C比率(%)	57.8	61.9
EC化率(%)	21.6	19.0

(注) 1. 海外売上高比率＝(海外EC売上高＋韓国卸売上高＋中国卸売上高＋海外卸売上高)÷売上高

2. D2C比率＝(国内リテール売上高＋国内EC売上高＋海外EC売上高)÷売上高

3. EC化率＝(国内EC売上高＋海外EC売上高)÷売上高

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の資産合計は4,611,489千円となり、前事業年度末に比べ180,276千円(3.8%)減少いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ623,632千円(16.1%)減少し、3,258,676千円となりました。これは主に、下半期シーズン向けの商品仕入が増加したことに伴い、商品が49,081千円(12.1%)増加、また、下半期シーズン向けの商品出荷が増加していることに伴い、受取手形及び売掛金が60,793千円(15.1%)増加した一方で、中国における合弁会社設立に伴う出資や、前事業年度末の未払法人税等の支払、商品仕入に係る支払が増加していること等により、現金及び預金が792,566千円(27.3%)減少したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ443,356千円(48.7%)増加し、1,352,812千円となりました。これは主に、中国事業展開に向けた合弁会社を設立したことに伴い、関係会社株式が295,480千円(前事業年度末は計上なし)増加、2025年6月にMARK&LONA 御殿場プレミアム・アウトレット、2025年8月にMARK&LONA りんくうプレミアム・アウトレットを開店したこと、並びに2025年9月にMARK&LONA 松坂屋名古屋店をリニューアルオープンしたことにより、敷金及び保証金が34,774千円(15.9%)、建物及び構築物が22,001千円(5.8%)増加したこと等によるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債合計は、569,050千円となり、前事業年度末に比べ240,129千円(29.7%)減少いたしました。

流動負債の残高は、前事業年度末に比べ261,839千円(39.2%)減少し、405,271千円となりました。これは主に、前事業年度末に比べて決算月における次シーズン向けの仕入が減少していることに伴い、買掛金が69,813千円(43.4%)減少し、次シーズン向け商品の前受代金の減少に伴い、契約負債が159,858千円(58.4%)減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べ21,710千円(15.3%)増加し、163,778千円となりました。これは主に、MARK&LONA 御殿場プレミアム・アウトレット、MARK&LONA りんくうプレミアム・アウトレットの開店、並びにMARK&LONA 松坂屋名古屋店のリニューアルオープン等に伴い資産除去債務が21,103千円(17.4%)増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産の残高は、4,042,438千円となり、前事業年度末に比べ59,852千円(1.5%)増加いたしました。これは、当期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したこと、譲渡制限付株式報酬としての新株式を発行したことによるものであります。

この結果、当事業年度末における自己資本比率は、87.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）930,062千円と、前事業年度末に比べ1,493,752千円(61.6%)の減少となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は254,381千円（前期は238,115千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益を63,987千円、減価償却費134,291千円を計上したものの、売上債権が61,321千円、商品が49,081千円増加し、仕入債務が69,813千円、契約負債が159,858千円減少したことに加え、法人税等の支払額を73,618千円計上したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,238,961千円（前期は172,623千円の支出）となりました。これは主に、資金の効率的運用の観点から、定期預金払戻による収入1,260,573千円を計上したものの、定期預金の預入による支出1,961,759千円を計上したこと、ならびに中国における合弁会社設立に伴う関係会社株式の取得による支出295,480千円、店舗設備の取得等に伴う有形固定資産の取得による支出122,805千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金及び使用した資金はありません。

(4) 今後の見通し

2026年12月期の当社を取り巻く経済環境の見通しにつきましては、我が国経済は、個人消費の緩やかな回復が見込まれるものの、不安定な世界情勢と、世界情勢に起因する原材料及びエネルギー価格の更なる上昇等の懸念もあり、不安定な経済環境が続くものと思われれます。

このような状況の中、当社は引き続きデジタルマーケティングを積極的に活用し、オンライン・オフラインの双方から国内外への販売強化に継続して努めていく方針です。

2026年12月期の業績予想につきましては、売上高4,965,000千円、営業利益115,000千円、経常利益120,000千円、当期純利益66,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上で、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,903,847	2,111,281
受取手形及び売掛金	403,576	464,369
商品	404,526	453,608
その他	170,502	229,569
貸倒引当金	△143	△151
流動資産合計	3,882,309	3,258,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	380,264	402,265
工具、器具及び備品（純額）	6,101	7,342
有形固定資産合計	386,365	409,607
無形固定資産		
ソフトウェア	18,326	21,412
ソフトウェア仮勘定	—	37,631
無形固定資産合計	18,326	59,043
投資その他の資産		
関係会社株式	—	295,480
敷金及び保証金	218,344	253,118
破産更生債権等	—	527
繰延税金資産	160,358	157,733
その他	126,061	177,829
貸倒引当金	—	△527
投資その他の資産合計	504,763	884,161
固定資産合計	909,456	1,352,812
資産合計	4,791,766	4,611,489

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,796	90,982
契約負債	273,713	113,854
未払金	127,038	115,073
未払法人税等	28,351	—
商品保証引当金	3,708	487
資産除去債務	690	5,137
その他	72,813	79,735
流動負債合計	667,111	405,271
固定負債		
退職給付引当金	14,273	14,880
資産除去債務	121,449	142,553
その他	6,345	6,345
固定負債合計	142,068	163,778
負債合計	809,180	569,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	828,800	841,303
資本剰余金		
資本準備金	728,800	741,303
その他資本剰余金	820,327	820,327
資本剰余金合計	1,549,127	1,561,630
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,604,683	1,639,530
利益剰余金合計	1,604,683	1,639,530
自己株式	△25	△25
株主資本合計	3,982,585	4,042,438
純資産合計	3,982,585	4,042,438
負債純資産合計	4,791,766	4,611,489

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,863,766	4,863,553
売上原価		
商品期首棚卸高	369,146	404,526
当期商品仕入高	2,119,037	1,998,390
合計	2,488,184	2,402,917
他勘定振替高	26,954	26,974
商品期末棚卸高	404,526	453,608
売上原価合計	2,056,703	1,922,335
売上総利益	2,807,063	2,941,217
販売費及び一般管理費	2,641,010	2,881,892
営業利益	166,052	59,324
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	805	5,498
為替差益	2,219	—
受取補償金	636	2,502
その他	1,190	1,347
営業外収益合計	4,851	9,347
営業外費用		
株式交付費	586	—
為替差損	—	4,685
その他	53	—
営業外費用合計	639	4,685
経常利益	170,263	63,987
税引前当期純利益	170,263	63,987
法人税、住民税及び事業税	102,499	26,515
法人税等調整額	△41,009	2,624
法人税等合計	61,489	29,140
当期純利益	108,774	34,847

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	822, 549	722, 549	820, 327	1, 542, 876	1, 495, 908	1, 495, 908	－	3, 861, 335	3, 861, 335
当期変動額									
新株の発行	6, 251	6, 251		6, 251				12, 502	12, 502
当期純利益					108, 774	108, 774		108, 774	108, 774
自己株式の取得							△25	△25	△25
当期変動額合計	6, 251	6, 251	－	6, 251	108, 774	108, 774	△25	121, 250	121, 250
当期末残高	828, 800	728, 800	820, 327	1, 549, 127	1, 604, 683	1, 604, 683	△25	3, 982, 585	3, 982, 585

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	828, 800	728, 800	820, 327	1, 549, 127	1, 604, 683	1, 604, 683	△25	3, 982, 585	3, 982, 585
当期変動額									
新株の発行	12, 502	12, 502		12, 502				25, 005	25, 005
当期純利益					34, 847	34, 847		34, 847	34, 847
自己株式の取得								－	－
当期変動額合計	12, 502	12, 502	－	12, 502	34, 847	34, 847	－	59, 852	59, 852
当期末残高	841, 303	741, 303	820, 327	1, 561, 630	1, 639, 530	1, 639, 530	△25	4, 042, 438	4, 042, 438

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	170,263	63,987
減価償却費	97,581	134,291
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	536
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△32,448	△3,220
受取利息及び受取配当金	△805	△5,498
受取補償金	△636	△2,502
為替差損益 (△は益)	△2,535	409
売上債権の増減額 (△は増加)	△52,268	△61,321
商品の増減額 (△は増加)	△35,380	△49,081
仕入債務の増減額 (△は減少)	127,956	△69,813
契約負債の増減額 (△は減少)	△10,398	△159,858
未払金の増減額 (△は減少)	23,303	△23,090
その他の資産の増減額 (△は増加)	△30,207	△6,889
その他の負債の増減額 (△は減少)	27,553	△6,712
小計	281,982	△188,764
利息及び配当金の受取額	805	5,498
補償金の受取額	636	2,502
法人税等の支払額	△88,389	△73,618
法人税等の還付額	43,080	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	238,115	△254,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△480,032	△1,961,759
定期預金の払戻による収入	480,024	1,260,573
有形固定資産の取得による支出	△141,211	△122,805
有形固定資産の除却による支出	△9,945	△2,743
無形固定資産の取得による支出	△13,242	△36,024
関係会社株式の取得による支出	—	△295,480
出資金の払込による支出	—	△32,000
敷金の差入による支出	△18,542	△35,774
敷金の回収による収入	25,539	1,000
積立保険料支払による支出	△15,214	△13,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,623	△1,238,961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△25	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,535	△409
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,001	△1,493,752
現金及び現金同等物の期首残高	2,355,813	2,423,815
現金及び現金同等物の期末残高	2,423,815	930,062

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、衣料品等の企画販売事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(持分法損益等)

1. 関連会社に関する事項

(単位：千円)			
	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)	
関連会社に対する投資の金額	—	295,480	
持分法を適用した場合の投資の金額	—	242,561	
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	—	△68,300	

2. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有しておりません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	654.22円	658.42円
1株当たり当期純利益	17.88円	5.70円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	108,774	34,847
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	108,774	34,847
普通株式の期中平均株式数(株)	6,083,267	6,114,747
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類(新株予約権の数401個(普通株式80,200株))。	新株予約権3種類(新株予約権の数401個(普通株式80,200株))。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。